

## 学習達成度評価アンケートの結果

学習・教育レビュー室では、今年度の卒業生および修了生に対し、学生自身の学習達成度評価アンケートを実施いたしました。以下に、実施アンケート項目を示します。

徳山高専では、多くの事を学んだと思います。皆さんが卒業（修了）するにあたり、徳山高専で用意したカリキュラムで、以下の期待した実力がついたと思いますか。

1. 「世界に通用する」技術者をめざすための、実力がついたと思いますか。
  1. 十分な実力がついた。
  2. 実力がついた。
  3. 実力がついていない。
2. 「実践力のある」技術者をめざすための、実力がついたと思いますか。
  1. 十分な実力がついた。
  2. 実力がついた。
  3. 実力がついていない。
3. 「開発型」技術者をめざすための、実力がついたと思いますか。
  1. 十分な実力がついた。
  2. 実力がついた。
  3. 実力がついていない。
4. 総合的に、期待した実力がついたと思いますか。
  1. 十分な実力がついた。
  2. 実力がついた。
  3. 実力がついていない。
5. 徳山高専へのご意見をお願いします（自由記述）。

本科卒業生 124 名、専攻科卒業生 31 名の計 155 名から、回答を頂きました。ありがとうございます。

例年のことではありますが、質問 1 の「世界に通用する」技術者をめざす実力については、「実力がついていない」との回答が本科卒業生、専攻科修了生ともに約 2 割程度を占めており、他の質問に比べてやや多くなっています。これらを除いた他の質問については、9 割超の学生が「十分な実力がついた」、「実力がついた」と自己評価しています。

また、4 つの質問すべてに対し「十分な実力がついた」と答えた本科卒業生は 124 名中 12 名、専攻科修了生は 31 名中 7 名です。一方で、全質問に対し、「実力がついていない」と回答した本科卒業生は 124 名中 2 名、専攻科修了生は 31 名中 2 名です。4 つの質問すべてに対し「十分な実力がついた」の評価割合は、本科卒業生で 1 割、専攻科修了生で 2 割となっています。この傾向は、ここ数年ほぼ同様となっています。質問 1 の「世界に通用する」技術者をめざす実力とともに、この評価割合を向上させていくことが今後の課題と思われれます。

平成 22 年度アンケート結果は、

[http://www.tokuyama.ac.jp/review/GA/2010/sotugyou\\_an\(0210\).pdf](http://www.tokuyama.ac.jp/review/GA/2010/sotugyou_an(0210).pdf)

平成 21 年度アンケート結果は、

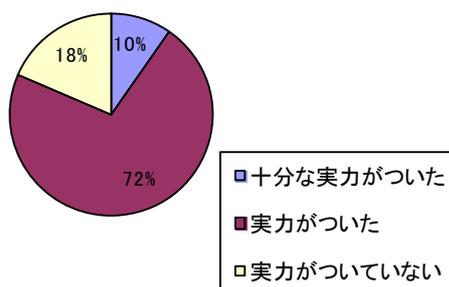
[http://www.tokuyama.ac.jp/review/GA/2009/sotugyou\\_an\(2009\).pdf](http://www.tokuyama.ac.jp/review/GA/2009/sotugyou_an(2009).pdf)

をご覧ください。

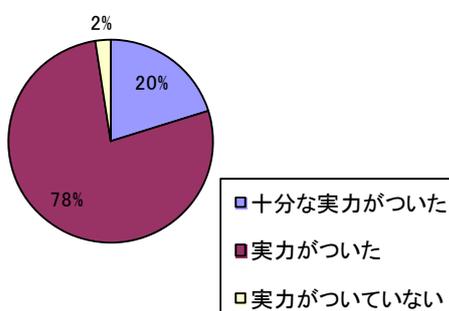
次のページにアンケートの集計結果を掲載しています。

## 本科卒業生

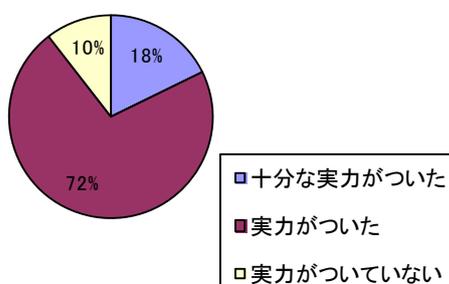
「世界に通用する」技術者をめざすための実力



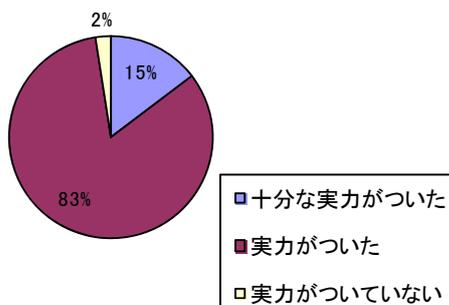
「実践力のある」技術者をめざすための実力



「開発型」技術者をめざすための実力

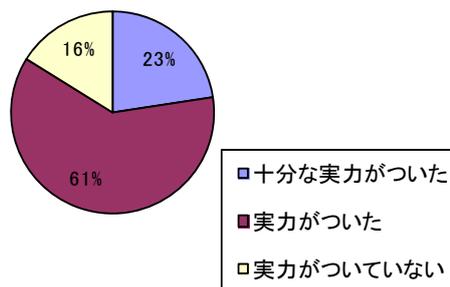


「総合的」な実力

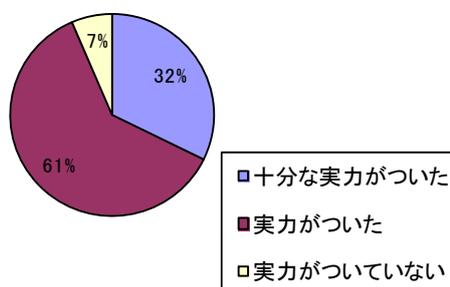


## 専攻科修了生

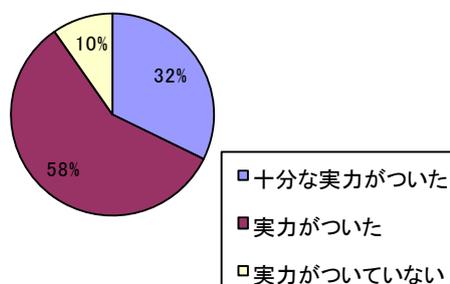
「世界に通用する」技術者をめざすための実力



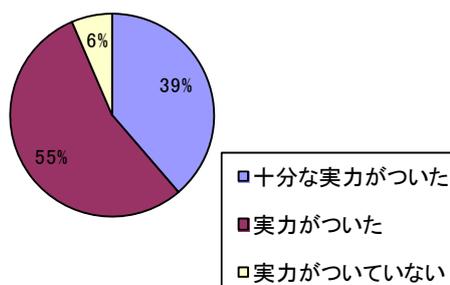
「実践力のある」技術者をめざすための実力



「開発型」技術者をめざすための実力



総合的」な実力



	本科(人)	専攻科(人)
4つの項目すべてに、「十分な実力がついた」と答えた学生	12/124	7/31
4つの項目すべてに、「実力がついていない」と答えた学生	2/124	2/31

## 学習達成度評価アンケートの結果について

この3月に本校を卒業あるいは修了された皆さん、学習達成度評価アンケートに協力して頂き、有り難うございました。

今回のアンケートの結果を見ると、全体としては、大半の方が「十分な実力」あるいは「実力」がついたと自己評価をしており、安心しました。また、本科の卒業生については、いずれの質問についても、「実力が付いていない」の割合は減少傾向にあり、本校の努力が少しずつ反映されているものと喜ばしく思っております。それでも、「世界に通用する」技術者をめざすための実力」という項目については、他の項目に比べて「十分な実力」がついたとの回答が少ない傾向にあり、注意が必要と感じました。

また、アンケートの自由記述欄にも、多くの卒業生・修了生がこれまでの高専での勉強を振り返っての感想もしくは意見を記入してくれました。今後の授業や学校運営の改善に活かせる有益な意見と考えております。

本校は、今回のアンケートの結果も踏まえて、教育研究活動の一層の改善に努めてまいります。卒業生・修了生の皆さんも、引き続き徳山高専を応援してください。よろしくお願いいたします。

平成 24年 3 月  
徳山工業高等専門学校長  
井上 直樹